



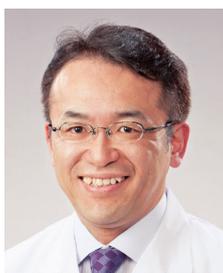
# 福島医大病院ニュースレター

編集・発行/附属病院患者サービス向上委員会



〒960-1295 福島市光が丘1番地 / TEL (024) 547-1111 ホームページ <http://www.fmu.ac.jp/byoin/index.php>

## 新任挨拶



病院経営戦略部  
部長 大竹 徹

令和2年4月1日付けで附属病院に「病院経営戦略部」が新設され初代部長を拝命しましたのでご挨拶申し上げます。

職員の皆様には附属病院の経営改善のため日頃より大変なご努力をいただいております。改めて感謝を申し上げます。病院経営改善のための業務は「健康を支える医療・心温まる医療を目指して県民と共に歩む」という当院の基本理念を力強く下支えする重要な任務です。従来は運営・管理部経営企画室が中心となり業務を行ってききましたが、新たに設立された病院経営戦略部では病院長の強力なカバナンスのもと医師自らが病院経営に参画し、医師主導で経営戦略の立案や医療機器・医薬品等の戦略的調達に取り組むことになりました。臨床工学センターや法人広報コミュニケーション室からも人材を登用し、内外に情報を発信しながらメディカルスタッフの意見を幅広く取り入れた透明性の高い

経営戦略が目標です。

今年度の重点課題をいくつかご紹介します。まずは、治療用医療機器の整備があげられます。治療までの待機日数の多い疾患では、患者さんが一日も早い治療開始を待ち望んでいます。心臓カテーテル室の血管撮影装置や眼科外来手術機器を再整備することにより検査や治療の効率を改善します。治療までの待機日数を減らすことで患者さんの満足度向上と治療実績の増加が期待できます。また、患者さんに迅速で精度の高い検査結果を届けるため、検査部検体検査室の新規移設にも取り組みます。さらに、医薬品や診療材料の物品・物流管理システムを再考し、有効で無駄のない調達を図ります。

病院経営戦略部の活動はまだ始まったばかりですが、みな笑顔でやる気に満ちています。「誰からも選ばれる明るい病院、みんなが集まるみんなのための病院」を合い言葉に、全ての病院職員が垣根を越え、心を燃やして患者さんのために尽くせるような新しい病院経営に取り組んでいきます。皆様の暖かいご支援をどうぞ宜しくお願いいたします。



きぼう棟3階の病院経営戦略部にて

### 第50号のなかみ

- 1ページ…○新任挨拶 病院経営戦略部 大竹 徹
- 2ページ…○新任挨拶 臨床医学教育研修センター 佐治 重衡  
○新任挨拶 医療安全管理部 大塚 幹夫  
○新任挨拶 災害医療部 長谷川有史  
○新任挨拶 心臓血管センター 中里 和彦
- 3ページ…○新任挨拶 薬剤部 黒田 純子  
○臨床研究センターからのお知らせ  
○新型コロナウイルスの感染防止に係る面会制限の変更について
- 4ページ…○今年の夏は、特に「熱中症」にご注意!!  
○～健康な体作りは1日3回の食事から～

マチのほっとステーション  
**LAWSON**

ローソン福島県立医科大学附属病院店（エレベーターホール隣）  
ローソン福島県立医科大学店（7号館内）

病衣・タオル・紙おむつ・日用品・付添寝具

手ぶらで入院・手ぶらで退院  
**入院セットレンタル**

お申込・お問合せ先：レンタル受付窓口  
**024-548-8777**



\* 院内1階、入退院受付横 9番窓口  
月～土曜日 9:00～17:00(日祝祭日休む)  
土曜日はきぼう棟1階ローソン南側にて営業します。



## 新任挨拶



### 臨床医学教育研修センター センター長 佐治 重衡

臨床医学教育研修センターは2020年4月1日に、附属病院の組織として新たに発足した部門で、臨床研修医（医学部を卒業して医師になったあと、最初の2年間はこのような呼ばれます）の病院内における働き方や医療安全教育の支援と管理をしていくことを目的としています。これまで、福島県立医科大学の大学内の組織として、医療人育成・支援センターという部門があり、ここで医学部学生と臨床研修医の管理・支援をおこなっていました。しかし、実際に研修医の先生が働く場所は

病院であり、患者さんの診療にあたらせていただく研修医が正しく活動していくこと責任は病院にある点から、現在の体制をとることとなりました。当センターの活動は、外科研修支援担当 教授 木村隆先生、総合内科教授 濱口杉大先生、そして医療人育成・支援センター教授 大谷晃司先生などが中心となっております。

患者さんにとって、普段の診療のなかでは、研修医の存在を意識していただくことはあまりないかもしれませんが、しかし、研修医は患者さんとの関わりのなかで多くのことを学んでいます。もし、外来診察や入院治療のなかで、研修医が担当させていただくことになったときは、ぜひいろんなことをお伝えいただき、育てていただきたいと思えます。



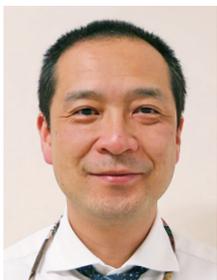
### 医療安全管理部 部長 大塚 幹夫

令和2年4月1日から医療安全管理部長を拝命しました。医療安全管理部の業務は医療安全の推進や各種委員会運営の実務など多岐にわたります。10年ほどの診療科リスクマネージャーの経験では、そのごく一部しか見えていなかったことを実感しています。現在は看護師ジェネラルリスクマネージャー2名、事務職5名が終日フル回転で各担当業務に当たっており、医師3名・薬剤師1名の副部長が医療クオリティ審議や死亡事例調査などさまざまな業務を担っておられます。多くの職種の方々が安全管理部業務を経験することにより、当院にお

ける医療安全意識の裾野が広がっていくと考えます。

当院は県内唯一の特定機能病院として高度医療を担っており、必然的に高難度の手術や高リスクの検査・治療手技を行うことが多い医療機関です。最近の特定機能病院承認要件の見直しでは、医療安全管理部門の体制強化が盛り込まれました。本院においては、安全で質の高い医療を提供することを基本理念とする医療安全改革アクションプランが令和元年9月に策定されました。

本年以降はアクションプランに沿った医療を実践し、アクションプランの進捗状況を確認しながら、新たな取り組みを進め、さらなる医療安全の向上を目指さなければなりません。医療安全管理業務を適切かつ迅速に行い、医療安全をさらに推進するためには、各部署の皆様のご協力が不可欠なものと考えております。是非ともご協力をお願い申し上げます。



### 災害医療部 部長 長谷川有史

災害医療とは需要（ニーズ；患者・要救援者）が、供給（リソース；医療スタッフ・医療物資）を上回る危機時の医療で、防ぎえた災害死・災害関連死の低減、医療機能の可及的維持を目標とします。医療者は日頃から災害への準備を行い、災害の渦中には、需要・供給のミスマッチを解消し、特殊状況での最高の医療・福祉・保健を提供する役割が社会から期待されます。当院では、昨今の災害頻発を

鑑み、2015年11月から新たに「災害医療部」を設置し、病院として主体的に災害時医療に関与対応する体制を構築しました。このような機構は国内でも珍しく、多様な職種・役割を効率よく整合することで、病院と社会に貢献するのが一つの役割であると認識しております。先輩方のご尽力により、当院はこれまで東北地方の災害医療を牽引し、社会から一定の評価を受けて参りました。この度、島田二郎前部長が災害時の対外的病院業務を専門的に担う災害医療担当病院長補佐に就任された事に伴い、長谷川が災害医療部長を担当させていただきます。もとより未熟者ではございますが、益々精進致しますので、今後とも皆様からの変わらぬ熱いご指導を賜りますようどうぞ宜しくお願い申し上げます。



### 心臓血管センター 部長 中里 和彦

心臓血管センターは、文字通り“心臓”や“血管”の病気を診療する部門です。具体的には狭心症や心筋梗塞、弁膜症、大動脈瘤から不整脈や先天性心血管奇形などにいたるまで、対応する病気は多岐にわたります。

当院では以前からメスが必要な治療は心臓血管外科、薬での治療や急性心筋梗塞のカテーテル治療などは循環器内科、そして小児の心臓病は小児科循環器グループがそれぞれ診療にあたってきました。しかし、近年、複数の領域にまたがるような病状の方が増えてきました。また、医師だけではなく看護師や臨床工学技師、理学療法士などを含めた多職種での診療が重要になってきています。

例として、心臓移植が必要な重症心不全患者さんに対する人工心臓の植込み手術とその後のバックアップが挙げられます。日本では移植を受けられるまでの待機期間が3年以上といわれており、内服治療のみでは移植の順番がくるまで命がもたない恐れがあります。

そのため、人工心臓を装着してその期間を乗り切る方法が普及してきました。このような患者さんに対しては、従来の内科だけ、外科だけ、あるいは医師だけでは対応が不可能であり、上述のような複数科、多職種でのサポートが重要になります。

また、経カテーテル的大動脈弁留置術（TAVI）のように内科と外科が協力して手術を行う治療法の発展や、小児期に心臓手術を受けた患児が成長して成人となり、通院先が小児科から内科へ引き継がれたりするなど、横方向の風通しを良くすることが、最終的に患者さんの利益につながると信じて診療していきたいと考えています。

## 新任挨拶



### 薬剤部 部長 黒田 純子

令和2年4月1日より薬剤部長を拝命致しました薬剤部の黒田純子と申します。3月まで名古屋市立大学病院に勤務をしておりました。新天地での生活、そして新たなスタッフとの業務が始まりました。

着任当初より、新型コロナウイルス感染症に対する承認医薬品の使用や、手指消毒薬の不足回避などの課題が次々と発生しましたが、いずれも薬剤部スタッフと相談・検討を進め迅速な対応ができました。このように、薬剤部が果たす役割は速やかで安定した薬剤の供給や適切な医薬品情報の提供といったことだけではなく、幅広い領域になってきました。

薬剤師がより活動しやすい体制を整えるため、薬剤部内の機械化が進んでいます。錠剤の取り添えにバーコードを識別するPDAの利用を開始したり、注射薬のピッキングマシンが配置されました。このような“正確な調剤”からさらに一歩進んで、最近では処方監査の領域もシステム化しました。院内処方せんに検査値を表記したり、あらかじめ登録した併用禁忌薬の処方に対し警告が出るといった仕組みを導入しました。これにより、効率的に“質の高い調剤”が可能になりました。

## 臨床研究センターからのお知らせ

臨床研究センターでは、「安全」で「有効」な医療を開発するため、新規医薬品の臨床試験（企業治験）や、医師が主体となっておこなう臨床開発試験（医師主導治験）を中心に実施支援を行っております。また、医薬品が販売された後の製造元販売後臨床試験や製造販売後の調査の支援も行っております。当センターは、患者さん・医師・治験依頼者の3者をつなぐ“架け橋”として治験全体をサポートし、患者さんに安心して治験に参加して頂ける環境を提供しております。

現在、様々な診療科において企業治験と医師主導治験合わせて70件以上の治験が実施され、たくさんの患者さんに参加していただいております。【次の世代に新しい薬、よりよい薬を残す】これは大変重要なことですが、患者さんのご協力なしにはできないことです。また、一つの治験は数年かかる場合も多く、長い期間、ご協力いただいている患者さんもいらっしゃいます。

そんな患者さん方に、治験が終了した時に、病院長からの感謝を込めて「感謝状」をお渡ししております。医療の発展のために貢献していただいた患者さんのその“意志”は医療界にとっても、社会にとっても大変ありがたく、称賛するに値します。「感謝状」をお渡しした患者さんご本人だけでなく、そのご家族にも大変喜んでいただいております。これからもたくさんの患者さんに「感謝状」をお渡しできればと思っております。

今後も、患者さんが安心して治験に参加していただけるように、臨床研究センターは全力でサポートして参ります。ぜひ、臨床研究センターのホームページもご覧ください。



近年、薬剤師の役割は調剤・処方監査から、薬剤管理指導、チーム医療と拡大し、さらにゼネラリストからスペシャリストへと業務内容の高度化が進みました。それに加え、病院全体の医療の安全性や質を高める立場も求められています。

医療費のコスト削減への取り組みとして、ここ数年、後発医薬品の導入が進められてきましたが、今年度はフォーミュラーの開始を予定しています。フォーミュラーとは、「医療機関等において医学的妥当性や経済性等を踏まえて作成された医薬品の使用方針」とされ、それぞれの薬効群の中でどの薬剤を標準薬物として用いるかを示すものです。これは、患者さんにとっては最も有効で経済的な医薬品の治療を推進することが可能となり、医療機関としては医薬品費の削減や医療事故防止等が期待できるものです。

また、当院は大学病院という立場から教育という責務を担っています。加えて、都道府県がん診療連携拠点病院ですので、特になんがん領域の研修を開始する予定です。当院を研修施設とし、地域の薬剤師の教育・研究の場とすることが医療施設間の連携を強化し、共に地域全体の医療の質向上を目指します。

今後、いろいろな新しい取り組みを薬剤部のスタッフと共に進めてまいります。皆様にご指導いただきながら職務を全うする所存ですので、どうぞ、ご支援の程よろしくお願い申し上げます。

## 新型コロナウイルスの感染防止に係る 面会制限の変更について

新型コロナウイルス感染が拡大していることを受け、入院患者さんへの感染防止を目的に、ご家族も含めて全面的に面会を禁止していましたが、**令和2年6月22日より以下のように変更いたしました。**

- ① **家族の面会は可能**とします。  
面会時はマスクを着用し、手指衛生を実施してください。
- ② 家族以外の方は原則面会禁止としますが、病状説明などで医師の許可がある場合は可能とします。
- ③ **1名の患者さんにつき、病室に入る人数は1回2名まで**とします。**面会時間は15分まで**としますが、病状説明などで15分を超過する場合はその限りではありません。
- ④ **面会者の体温測定や体調チェックの確認は引き続き行わせていただきます。**  
面会時はスタッフステーションまで声をかけてください。  
37.5℃以上の発熱や、咳などの呼吸器症状がある場合は面会をお断りさせていただきます。

福島市御山 アウトドアリビングの家

UNNO HOUSE CONCEPT HOUSE

UNNO HOUSE ☎0120-36-1131



## 今年の夏は、特に「熱中症」にご注意！！

健康増進センター

皆様、はじめまして。健康増進センターは、福島県からの委託のもと、健康データの解析や脳卒中・急性心筋梗塞の発症登録事業などを通じて、県民の健康増進を目指しています。今回は、「新しい生活様式」のもとで迎える初めての夏を健康に過ごすため、改めて「熱中症」の予防のポイントについてご紹介いたします。

新型コロナウイルス感染の予防とともに、身体活動の機会を保つことも長く健康を維持するためには大切です。しかし、狭い場所やマスクをしたままでの身体活動は、多くの方にとってあまり経験がないものです。ですから、今年はいままで以上に熱中症予防のための注意が必要になります。以下に心掛けていただきたい予防のポイントをまとめましたので、いっしょに実践して、この夏を健康に過ごしましょう。

○夏期の気温・湿度が高い中でマスクを着用すると、熱中症になりやすくなるおそれがあります。このため、屋外で人と十分な距離（少なくとも2m以上）が確保できる場合には、適宜マスクをはずして休憩しましょう。  
※屋内運動施設での運動などの状況については、お住まいの自治体の情報に従ってください。

○マスクを着用した身体活動では、強い負荷の作業や運動は避け、のどが渇いていなくてもこまめに水分補給を心掛けましょう。また、周囲の人との距離を十分にとれる場所で、適宜、マスクをはずして休憩することも必要です。

○新型コロナウイルス感染症を予防するためには、冷房時でも換気扇や窓開放によって換気を確保する必要があります。室内温度が高くならないよう、エアコンの温度設定をこまめに調整しましょう。

○日頃の体温測定、健康チェックは、新型コロナウイルス感染症だけでなく、熱中症を予防する上でも有効です。体調が悪いと感じた時は、無理せず自宅で静養を。

○3密（密集、密接、密閉）を避けつつも、熱中症になりやすい高齢者、子ども、障害者への目配り、声掛けを。

出典：厚生労働省ホームページ「熱中症関連情報」

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryou/kenkou/nettyuu/index.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/nettyuu/index.html)

より「令和2年度の熱中症予防行動について」から抜粋改変



## ～健康な体作りは1日3回の食事から～

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、家にいる時間が増え、食事を簡単に済ませる、テイクアウトを利用するなど、食生活が乱れてしまったという方はいませんか？ウイルスに負けないために1日3食バランスよく食事をしましょう。1日3食の生活習慣は、実は鎌倉時代から続いています。生体リズムを守るため、そして、1～2食では1日に必要な栄養素が十分に摂取できないという理由から、1日3回食事が必要です。

私たちの体には体内時計が備わっており、睡眠や食事などによって生体リズムがコントロールされています。例えば、深夜に食事をするなどで、消化管に負担がかかり眠りが浅くなるなど、生体リズムを崩す原因となってしまいます。1日3回規則正しい時間の食事を心がけましょう。

また、主食、主菜、副菜のそろった食事を心がけましょ

う。主食はご飯やパン、麺などの炭水化物の多い料理でエネルギー源となるもの、主菜は肉や魚、卵、豆腐などのタンパク質の多い料理でメインのおかずとなるものです。副菜はビタミンやミネラル、食物繊維の供給源となるものです。野菜や海藻、きのこなど様々な食材を食べましょう。

この写真は当院で提供している病院食です。入院されている患者さんが早期に回復できるよう、栄養バランスを考え、旬の食材を取り入れるなど工夫しながら献立を作成しています。これからも日々おいしい食事を提供できるよう取り組んでまいります。



### スターバックスコーヒー福島県立医科大学附属病院店

**営業時間** 平日 7時～20時  
土日祝 9時～19時

アメリカ シアトル生まれのスペシャルティコーヒーストア。高品質のアラビカ種コーヒー豆から抽出したエスプレッソがベースのバラエティ豊かなエスプレッソドリンクやバスター、サンドイッチをお楽しみいただけます。



すべてを地域のために

# 東邦銀行

ご利用・お問い合わせは **福島医大病院支店**

窓口営業時間：平日午前9時から午後3時

電話 024-548-5331（受付時間：平日午前9時から午後5時）